

# 授業科目 成人急性期看護学演習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
目黒 優子、手島 美子 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○		○	
【概要・一般目標：G10】					
急性期にある対象者の特徴を理解し、急性状態にある対象者への看護を行うために必要な知識と技術を習得する					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>急性期およびクリティカルな状況・周手術期にある対象を理解する</li> <li>クリティカルな状況にある対象に必要な援助を列記できる</li> <li>クリティカルな状態にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する</li> <li>周手術期にある対象を理解し、必要な援助を体験する</li> <li>周手術期にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する</li> <li>演習を通して、クリティカルケア・周手術期看護の実践を行う準備をする</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業オリエンテーション 急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			1	講義・演習
2	急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			1.5	講義・演習
3	急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			4.5	講義・演習
4	急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			4.5.6	講義・演習
5	急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			4.5.6	講義・演習
6	急性期にある対象の全体像を把握するアセスメント技法			4.5.6	講義・演習
7	周手術期にある対象者の理解と看護に必要な技術			4.5.6	講義・演習
8	周手術期にある対象者の理解と看護に必要な技術			4.5.6	講義・演習
9	周手術期にある対象者の理解と看護に必要な技術			4.5.6	講義・演習
10	周手術期にある対象者の理解と看護に必要な技術			4.5.6	講義・演習
11	クリティカルな状態にある対象者の理解と看護に必要な技術			2.3.6	講義・演習
12	クリティカルな状態にある対象者の理解と看護に必要な技術			2.3.6	講義・演習
13	クリティカルな状態にある対象者の理解と看護に必要な技術			2.3.6	講義・演習
14	クリティカルな状態にある対象者の理解と看護に必要な技術			2.3.6	講義・演習
15	クリティカルな状態にある対象者の理解と看護に必要な技術			2.3.6	講義・演習
16	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		周手術期看護 1	竹内登美子	医歯薬出版	2012・1,890円
		周手術期看護 2	竹内登美子	医歯薬出版	2012・1,890円
		周手術期看護 3	竹内登美子	医歯薬出版	2012・1,890円
		急性期看護論	池松裕子	ヌーベルヒロカワ	2010・2,520円
		ナーシンググラフィカ EX3 周手術期看護	竹内佐智恵	メディカ出版	2010・3,600円+税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験・レポート・出席で評価する。 演習の事前学習やグループワークの参加状況も加味する。					